

# 九大広報

KYUSHU UNIVERSITY CAMPUS MAGAZINE

04  
2017 Apr.  
vol.106

平成29年度新入生歓迎

総長・学部長からのメッセージ

【特集】

共創学部（設置申請中）

—社会の多様性に挑戦し続ける人材育成—

歓迎！新入生

# 歴史散策

KYUDAI HISTORY STROLL

14

## 九州帝国大学附属図書館

新入生の方々に利用してもらいたい施設のひとつが図書館。九州帝国大学に附属図書館が設置されたのは1922(大正11)年。建物は学生の利便性を考えて、箱崎キャンパスにある当時の工学部と法文学部の間に1925(大正14)年6月に竣工しました。鉄筋コンクリート造2階建のヴォールト(かまぼこ)屋根を特徴とする施設は、その後1973(昭和48)年に中央図書館が落成すると、翌年からは保存図書館として、そして現在は総合研究博物館の収蔵施設として利用されています。側面の窓上部に取り付けられた渦巻き様の意匠は竣工当時からのもので、設計者である倉田謙建築課長(当時)の特徴的なモチーフでもあります。

市原猛志(百年史編集室 助教)



九州帝国大学附属図書館建物と桜(2012年4月撮影)

## 目次

|             |  |        |        |               |               |  |         |          |  |                         |
|-------------|--|--------|--------|---------------|---------------|--|---------|----------|--|-------------------------|
| 30          | 29   | 26     | 23     | 22            | 17            | 15   | 11      | 07       | 02                                       |                         |
| Information | 広報室学生スタッフのお仕事  | 同窓会だより | 九州大学基金 | MUSEUM REPORT | KYUDAI TOPICS | Close up<br>●スマートモビリティ推進コンソーシアム<br>自動運転バスの実証実験開始<br>●学生歌「松原に」の作詞者と対談 | 受賞のお知らせ | 記者会見レポート | 【特集】<br>共創学部(設置申請中)<br>社会の多様性に挑戦し続ける人材育成 | ●総長メッセージ<br>学部長からのメッセージ |
|             | ●筑後地区九大同窓会<br>●第5回熊本同窓会<br>●ありあけ九大会<br>●創立20周年記念総会<br>●九大関西同窓会新年賀詞交歓会<br>●沖縄県九州大学同窓会総会・懇親会<br>●第15回唐津地区同窓会 |        | 25     |               |               |  |         |          | 平成29年度新入生歓迎                              |                         |

### 表紙について

早春の空に響き渡る歓声。3月8日、箱崎キャンパスで平成29年度一般入試(前期日程)の合格発表がありました。掲示板の前には在学生が集まり、各サークルで合格者を見つけては拍手で迎え、胴上げをしていました。先輩たちに持ち上げられる新九大生は照れながらも嬉しさを隠せない様子。すぐ側には、そんな姿を涙ながらに笑顔で見守る家族がいます。

一つの夢が叶ったこの日。空に向かって手を伸ばす先には、新たな夢や目標が広がっているように見えます。

■編集・発行:九州大学広報室 〒819-0395福岡市西区元岡744

■TEL:092-802-2130 ■FAX:092-802-2139

■E-mail:koho@jimu.kyushu-u.ac.jp

■Webサイト:<http://www.kyushu-u.ac.jp/>

■印刷:株式会社ミドリ印刷 ■編集協力・取材:株式会社チカラ

■撮影:岡本正人、加来和博、中西ゆき乃、平川雄一郎

■デザイン:才原貴生(Office Chameleon)

○お読みになってのご感想やご意見をお待ちしています。

○本誌記事を転載する場合は、事前に九州大学広報室までご連絡願います。

○「九大広報」は九州大学Webサイトでもお読みいただくことができます。

○次号は、2017年7月発行予定です。

# 新入生に贈る3つのC Change・Challenge・Creation

九州大学総長 久保千春（専門分野：心身医学、アレルギー学）



新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

皆さんこのこれまでの努力が実り、九州大学の一員になられたことを、本学を代表して心から歓迎します。また、新しく九大生となられた皆さんを、今日までしっかりと支えていただいたご家族や関係者の方々に、心からお祝いとお慶びを申し上げます。

これから皆さんは、この九州大

学で4～6年間の貴重な時間を過ごすことになります。皆さん

が現在属している時期、いわゆる青年期は柔軟な思考を通して自分自身の方向性を見出し、アイ

デンティティを確立していく変化

(Change)する時期です。勉学を通じて学問の広さや深さを知

り、課外活動、ボランティア活動や趣味などを通してさまざまな人との出会いや交流を深め、有意義な学生生活を過ごしてください。

また、社会の諸課題と真摯に向かい、さらに自身を見つめること、すなわち「自分とは何なのか」「何をしたいのか」と『主観を磨く』ことを大切にしてほしいと思います。

大学での学びは高校までの学びとは違います。つまり、「教えてもらう」から「自ら学ぶ」に変わることです。九州大学では

平成26年4月から「基幹教育」がスタートしました。皆さんがこれから学ぶ基幹教育では、それ専門分野を学ぶ前にさまざま学びの機会を創り、幅広い視野を育成すると同時に、生涯にわたって自律的に学び続けるアクティブ・ラーナーとしての「ものの見方・考え方・学び方」を学ぶための姿勢と態度を修得してもらいます。

また、九州大学のキャンパスにはアジアを中心に世界中から2300人を超える留学生が集まっており、海外の有力大学等への留学プログラムも充実しています。異なる文化や価値観を持つ多くの人と接し、お互いを理解することが大切です。そのためにも基幹教育における幅広い学びを修得し、世界に向けて挑戦(Challenge)してほしいと思います。

最後に、新入生の皆さんには、失敗を恐れずそのまま課題に果敢に取り組んでいただきたいと思います。そして、自分の夢をしつかり持ち、新しい価値を創造(Creation)するようにしてください。この九州大学で共に学び、グローバル社会でリーダーとなるための基盤づくりに邁進されることを期待します。

# 平成29年度 新入生歓迎 学部長からのメッセージ

センターZーンを望む（ドローンによる空撮）

## 好奇心を大切に、 そして適度に意地悪に

九州大学、そして文学部へのご入学おめでとうございます。文学部の教職員・在学生一同、皆さんを心から歓迎します。

私は言語学が専門です。生身の人間（自分自身を含めた）の話すことばを研究することを第一にしています。ヒトの言語についての経験知が蓄積されると、それだけ言語の分析は早くなります。昔ながらの学問的枠組みにとらわれている部分も多いです。また好奇心はと言うと、昔に比べて低下していると思います。好奇心旺盛な皆さんは九州大学でどういう学問に出会うのでしょうか。好奇心の赴くまま、我々教員の想像を超えた世界へと、行ってしまうのももれません。うらやましい。

さて学問の世界は、適度に意地悪であることも必要です。人の言うことに耳を傾けることは大切ですが、批判的に聞くことが大切です。教員の言うことも、鵜呑みにせず批判的に聞きましょう（この文章も）。文学部の20を超える専門分野が、皆さんと学問するのを、楽しみに待っています。



文学部長

久保 智之 くぼともゆき

専門分野

言語学

## 人間にに対する探求心と共感力

ご入学おめでとうございます。教育学部の教職員、在校生ともども皆さんを心より歓迎いたします。

教育学部は、教育学と心理学を二本の柱として人間の成長や発達の仕組み、それを取り巻く社会や制度環境などについて多様な専門分野から、そしてグローバルな視点に立って探求するところです。その学問的立場や視点はさまざまですが、共通するのは人間にに対する深い洞察と共感的な態度を重視していることです。人間は学問分野ごとに細分化されたアプローチを拒絶する全体的で複雑な存在です。皆さんには教育学部での学びと出会いを通して、この厄介で愛すべき人間にに対する探求心と共感力を身につけてほしいと思っています。

また、教育学部では少人数教育を学びの特徴としています。同級生同士、先輩と後輩、そして学生と教員がお互いに顔の見えるアットホームできめ細やかな修学環境を準備して、皆さんのがんの学びと学生生活を全力でバックアップします。さあ、仲間たちといっしょに教育とこころを探求する航海へこぎ出しましょう。



教育学部長

坂元 一光 さかもと いっこう

専門分野

教育人類学

# 皆さんには無限の可能性が開かれています



法学部長

村上 裕章 むらかみ ひろあき

専門分野  
行政法学

# 三つの「不」の時代における経済学



経済学部長

磯谷 明徳 いそがい あきのり

専門分野  
制度経済学・進化経済学

# 一緒に自然科学を楽しみましょう



理学部長

中田 正夫 なかだ まさお

専門分野  
固体地球物理学

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。法学部の教職員一同を代表して、皆さんのご入学を心より歓迎いたします。

皆さんのがこれから取り組む法学・政治学は、経済学などとともに、社会科学と呼ばれています。簡単に言えば、社会のあり方を研究する学問です。めまぐるしく状況が変化する現代、これまでの歴史と現状を踏まえつつ、社会のあり方を大胆にデザインできる人材が求められています。法学部での研鑽を通して、世界に通用する構想力を養ってください。

九州大学法学部は、1924年に九州帝国大学法文学部法科として創設され、1949年に法学部として独立しました。これまで実業界、官界、法曹界、学界などに多くの優れた人材を輩出し、全国的な評価を得ています。皆さんにとっても無限の可能性が開かれています。要は4年間の過ごし方次第です。法学部での勉学や留学、友人・先輩・教員との交流を通して、自分の能力を最大限に発揮できる天職を見つけていただければ幸いです。

九州大学法学部は、1924年に九州帝国大学法文学部法科として創設され、1949年に法学部として独立しました。これまで実業界、官界、法曹界、学界などに多くの優れた人材を輩出し、全国的な評価を得ています。皆さんにとっても無限の可能性が開かれています。要は4年間の過ごし方次第です。法学部での勉学や留学、友人・先輩・教員との交流を通して、自分の能力を最大限に発揮できる天職を見つけていただければ幸いです。

これから4年間、教員一同、箱崎と伊都での教室、セミナー室で、皆さんとともにこれらの経済学について学び、日本経済、ひいては世界経済の行く末について活発に議論できることを楽しみにしています。

新入生の皆さん、九州大学へのご入学おめでとうございます。経済学部の教員一同を代表して、心よりお祝い申し上げます。皆さんは、半年間という短い期間ですが、箱崎キャンパスで学生生活を送る最後の学年ということになります。

経済学部に入学して、初めて経済学というものに触れる皆さんは、経済学とは何だろうかと戸惑われるかもしれません。経済は何か特殊な活動といったものではなく、人びとの日々の暮らしのものです。経済学はそれを理解する学問にはなりません。ただ現代の経済は経済学が学問として登場した時代とは大きく異なっています。とりわけ、2017年の今は、「不寛容」、「不連続」、「不透明」という三つの「不」で表されるような時代が始まるかのような雰囲気が醸し出されています。このような時だからこそ、経済学が現実を理解する上で、何ができる、何ができるのかを真剣に考えねばならないし、そのためには経済学の知見だけではなく、人文科学を含めた総合的な社会科学の知見を動員すべきなのかもしれません。

自然科学の基礎の学習に加え、英語の勉強に力を注いでください。大学院進学や就職にかかるわらず、将来、国際社会で活躍するためには英語でのコミュニケーション能力は非常に大切です。さらにサークル活動等を通して人間としても大きく成長し、充実した学生生活を送ることを期待しています。

## 医学部へようこそ



医学部長

住本 英樹 すみもと ひでき

専門分野  
生化学

## 大学生活を楽しもう ただし日々の努力も忘れずに



歯学部長  
古谷野 潔 こやの きよし

専門分野  
補綴歯科学

## 九州大学独自の 薬のプロフェッショナルの追求



薬学部長  
大戸 茂弘 おおど しげひろ

専門分野  
薬剤学

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。意欲と希望にあふれる皆さんを医学部に迎えたことを大変嬉しく思います。

これから皆さんには、1年間伊都キャンパスで学んだ後、場所を馬出の病院キャンパスに移し、「未来の医学・医療を担うプロフェッショナル」となるための基本を身につけることになります。医を学ぶことは、自分自身を学ぶことであり、そして社会と繋がることでもあり、時に厳しくもとても楽しい営みです。今からの4年間あるいは6年間は長いですが瞬く間に過ぎ去ることと思います。そして、友、先輩後輩、師と巡り合うことと思います。どうか出会いを大切にしてください。また、専門以外のことにも積極的に取り組み、広い視野を身につけてほしいと思います。よく学びよく遊び、芸術・スポーツに親しみ、友と語らい、そして本を読みます。多角的に知性を磨くことはもとより、感性もしっかりと鍛えましょう。医の問題は全て、多かれ少なかれ「如何に生きるべきか」という問いに重なってきます。

皆さんが大学生活を大いに楽しむとともに、これら的人生の礎を築いてほしい、と切に願っています。

皆さんは、卒業後には歯科医療あるいは歯科医学・生命科学研究に従事するリーダーとなることを期待されています。そのための努力を惜しんではなりません。ある有名スポーツ選手が、「努力（練習）は裏切らなければ『如何に生きるべきか』という問い合わせに重なってきます。皆さんには歯科医療あるいは歯科医学・

新入生の皆さん、九州大学薬学部へのご入学、誠におめでとうございます。九州大学そして歯学部へのご入学を心より歓迎いたします。

皆さんは、今、大学での新生活を目前に控え、あれをやつてみよう、これもやりたいと希望に満ち溢れいることだと思います。また、同時に若干の不安も抱えているかもしれません。歯学部は学生数が少ない比較的小さな部局ですが、皆さんの先輩や教員も皆、歯科医療、歯科医学という同じ道に生きる者の集まりです。皆さんのやりたいことを伸ばし、悩める時は相談に乗ってくれる人たちが周りにはたくさんいます。私たちと一緒に、今抱いている希望と夢を大学生活中に大いに実現してください。

1年次の伊都キャンパスでの基幹教育は、学部を超えて教員と学生が一堂に会して学習できる総合大学の特色に満ち溢れ、薬づくりの新たな発想が醸成されます。また2年次以降、医療系学部が集結する病院キャンパスでは、チーム医療や創薬の連携研究が実践できる最適な環境が整備されています。さらに九州大学薬学部独自の人と地球環境に優しい「グリーンファルマ創薬育薬研究」を推進しています。一方、テニス大会やソフトボール大会なども盛んです。これらを通じて、グローバルな社会環境に適応できる強靭な精神力を培つてほしいと思います。

九州大学が推奨するアクティビティ・ラーナーとして、常にチャレンジ精神を持つ、薬のプロフェッショナルの道に邁進してほしいと思います。

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。  
これから皆さんは、人生の中で最も重要なかけがえのない4年間を、自然に富み、最新の設備と建物が整った伊都キャンパスで、大勢のすばらしい人たちに囲まれて過ごすことになります。この4年間がどれほど実り多きものになるかは、皆さんの心がけと行動次第です。皆さんが一人前のエンジニアあるいは研究者になるため、それぞれの分野の基礎をしっかりと身につけましょう。そして、人の考え方を理解し、自分の考えを人に理解してもらえる能力を養いましょう。自分の頭で考え、難くても最後まで考え方を抜けましょう。

また、専門や文化を異にする多くの人たちと語り合いましょう。社会の変化や技術の急速な発展、そして世界に目を向けましょう。世の中には難題が山積しています。工学を学ぶ皆さんは、エネルギー問題、環境問題、高齢化社会の問題など、さまざまな問題の解決と新しい世の中づくりに直接貢献できるチャンスを持つています。皆さんは自分が思っているよりはるかに高いポテンシャルを持っています。九州大学に来られた皆さん、これから日本をリードしていく立場にあることを強く意識して欲しいと思います。皆さんが4年後、見違えるようにたくましく成長して巣立っていくことを祈っています。

## 将来の自分と社会のために



工学部長

高松 洋 たかまつ ひろし

専門分野  
熱工学

## 世界へ羽ばたく 芸術工学の設計家



芸術工学部長

安河内 朗 やすこううち あきら

専門分野  
生理人類学

## グローバル社会を支える 人材に！



農学部長

福田 晋 ふくだ すすむ

専門分野  
食料流通学

「入学、おめでとうございます。芸術工学部は今から半世紀ほど前に全国で初めて設置されたこの分野のパイオニアです。そのオリジナリティは「技術の人間化」という明確な理念です。溢れる莫大な情報や急速な進歩をとげる技術を人間のしあわせのために取捨選択し、人間らしさを求めて計画的に活用できる設計家を養うのが芸術工学部です。ここでは、理系や文系、また芸術系にいたる幅広い分野を座学だけでなくさまざまな体験を通して学び、身体に馴染ませていきます。それらはあくまでも設計家としての基礎です。重要なのは社会に埋もれるさまざまな課題を発見し、解決するための知識の活用法を培うことです。そのためには常識の枠を外し、知識に裏打ちされた革新的アイデアを構築し、それを実現する知恵を発揮する能力を養う必要があります。芸術工学がもつとも得意とするところです。さらに語学力、異なる分野間のコミュニケーション力、国際的なプレゼンテーション力を身につけ、世界のリーダーとして人類の新しいなページを加えてください。

如何に充実した大学生活を過ごすかは、あなた自身にかかります。チャレンジ精神と創造力を磨き、多くの先生や友人と交わり、豊かな人間性を身につけるとともに、グローバル社会を支える専門的知識と広い視野を併せもつた人材に大きく成長してほしいと願っています。

皆さんの健闘を切に期待しています。

# 共創学部

(設置申請中)

歯学部設置(昭和42年)以来、約50年ぶりとなる新学部の開設。

今回、「共創学部」開設にあたって立案・計画に携わっている丸野理事・副学長(教育担当)に、詳しくお話を伺いました。



理事・副学長 基幹教育院長

まるの しゅんいち  
丸野 俊一

1948年鹿児島県に生まれる。1975年九州大学大学院教育学研究科教育心理学専攻博士課程中途退学。教育学博士。現在、九州大学理事・副学長 基幹教育院長。専門は認知発達心理学、教授學習過程心理学。

## 九州大学が挑む 新たな学部教育

例えばこれまでの大学制度では、文学や理学というそれぞれのディシプリン(専門分野)ごとに、学部教育が行われてきました。

しかし、多様化する社会を生き抜くためには、一つの分野を深く掘り下げるだけでは対応できなくなっています。幅広い知識や方法論を身に付けて、柔軟に問題解決に取り組む人材の育成が急務となります。

「共創学部」のベースにあるのは、2001年度に発足した「21世紀プログラム」です。このプログラムでは、学生が自分の興味や関心に応じて、文系・理系を問わずオーダーメイドでカリキュラムを作ることができます。さらに100周年を迎えたのを機

## 「個」を大切にする 課題解決型人材の育成

共創学部においては、「共創学」という学問体系があるわけではありません。「何かの課題を解決したい・取り組みたいから学ぶ」という、まず課題ありきの方法論の探求および学問分野の構築になります。その点が「何かを学んだから、何かができる」と考える従来の学問追求の姿勢とは大きく違うところです。

複雑な問題を解決するには、限られた知識だけでは太刀打ちできません。さまざまな人々と共に構想し、新たな物事を創造し続ける「共創」の志向性および学びの態度が必要になります。

これまでの教育課程では、客観性や普遍性を追求するあまり、個人の感性やひらめきに基づく一人称的発想(主観性)が軽視されがちでした。しかし、世界は今、絶えずダイナミックに流れ動いています。既成概念や常識に従うだけではなく、何の進歩も望めません。今からの時代は、世の中の動き

に、全学教育を見直す動きがあり、2014年に「ものの見方・考え方・学び方」を学ぶ「基幹教育」がスタートしました。この二つの教育システムを発展させることで、文理の枠を超えて一つに統合したユニークな学部が誕生したのです。



をいち早くキャッチして「私はこう思う」「こう考える」と主体的に考え、判断し、行動する力が問われます。そのため、自分と異なる「個」の存在に着目し、多種多様な価値観や考え方を尊重するしなやかさや寛容さを身に付けることがカギとなるでしょう。

## 互いを刺激し高め合う 「協働学習」の実践

カリキュラムではグループ学習に力を入れて、学生と教員が一緒になって設定された課題の解決に取り組みます。時には、予想外のことが起つたり壁にぶつかったりすることもある

かもしません。しかし、重視するのは成果よりもプロセスです。失敗するのは当たり前。失敗の中にこそ新しい発見があると考えています。

異なるバックグラウンドを持つ人たちが、互いに認め合い、協働して、より良いものを創り上げていく。その過程そのものが最大の学びなのです。その成果は、共創学部の教員にかかるといふよりも過言ではありません。

それと同時に、教える側は一方向的な知識伝達型の教育スタイルではなく、教員がチャレンジする姿や一緒になって問題解決のために努力する姿を見せてることで、学生も大きく成長を遂げるでしょう。

## これからの社会を支える 真のグローバル人材を輩出

真のグローバル化とは、多様な価値観を分かり合えることで時代を越え、文化を越え、分野を越え、国境を越えて、多様性を素直に受け入れる柔軟性だと思います。新しい価値や社会を生み出すためには、一人一人の違いを認めることが何よりも大切だからです。

今までの大学教育は、それぞれの学部の専門性を深く追求することに専念してきました。ところが、これらの時代では複数の分野にまたがって研究することが不可欠になります。そのコーディネーターとしての重要な役割を担うのが、共創学部の学

生です。

他の学部に比べ、さまざまな分野を関連付け、新しい領域を切り拓く能力を磨くことができます。共創学部で学んだ人たちの活躍が大学全体にとって、カンフル剤になるでしょう。

いかなる社会になろうと、「共創」のプロセス思考やマインド・セットさえあれば対応できるはずです。どんな難題にも果敢に挑戦する、グローバル人材になることを期待しています。

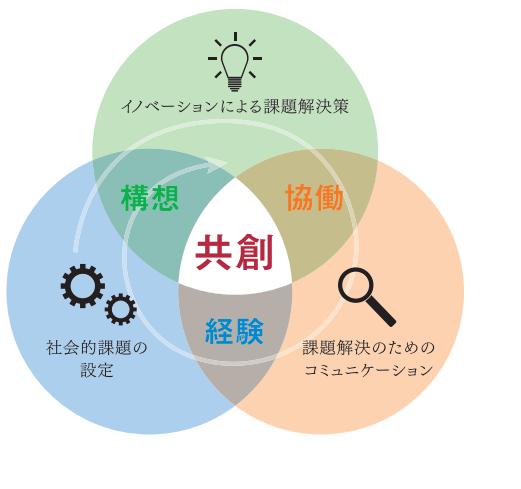
## 何故いま、九州大学に 共創学部が必要なのか

ここまで述べたことは、既存の学部教育を否定するわけではありません。これまでの学部教育やさまざま

な学問の努力を続けることと、それらの成果を結びつけて新たな取組としていくことの、両方が必要になつていくのだと考えています。そのため九州大学は、「ある学部を廃止して新しい学部に衣替えをする」のではなく、既存の11学部の教育にも引き続き取り組みながら、さらに新しい取組を始めるための新しい学部を作る、ということを選択しました。これを大学全體が理解しているからこそ、大学の人材になることを期待しています。

## コンセプト

社会的課題の設定から  
課題解決策を考え【構想】、  
課題解決に向け他者と取り組み【協働】、  
構想から協働までの一連の【経験】を通じて、  
【共創】を目指します。



新学部の設置については申請中であり、内容は今後変更する場合があります。

## 設置の背景／育成する人材

かつてないほどグローバル化が進展し、人間の活動が地球環境に影響を与えるまでに至った現代社会では、個別の学問だけでは解決することが困難な複雑錯綜した人類的な課題に直面し、このような課題の解決のため、研究者、自治体、NPO、民間企業など多様な人々の協力による取組が行われています。大学には、そのための新しい知の創造と、課題解決に貢献できる人材の養成が期待されています。

九州大学は、このような社会からの期待をはじめ、個別の学問だけでは解決することが困難な、複雑に錯綜した、人類的ともいえる課題に直面している現代のグローバル社会の状況を踏まえ、これまでの学部教育では養成することが困難な、新しい人材の育成を目指して「共創学部」を設置する予定です。

共創学部は、人類が直面している国際的・地球的問題に対して、自ら課題を設定してその解決に至るアプローチを「構想」し、異なる専門や知識を持つ多様な人々と「協働」し、これら構想と協働の学びや海外留学を通じて得られる「経験」をもとに、グローバル社会において新たな知や価値を生み出す「共創」の専門性を身に付けた人材を育成することを目的

とします。

共創学部が掲げる「共創」とは、「構

想」「協働」「経験」というプロセスを繰り返すことを通じて、絶えず変化するグローバル社会において新たな知や価値を生み出すことを意味し、また、「共創」の専門性とは、「このような構想」「協働」「経験」を通じて、課題を解決するために新たな知や価値を求めて「課題に応じ自ら必要なことを学ぶ」態度や志向性を持ち、多様な学知を組み合わせて課題解決のための知を創造し、それを社会に活用していく力、すなわち「共創的課題解決力」を意味しています。

この「共創的課題解決力」を身に付けて人材とは、自ら課題を発見し、その課題を解決するために必要な知識を自ら積極的に学び、学び取った多様な学知を

課題解決のために活用し、それを他者と協働しながら深め、具体化し、その課題解決策を社会に活用できる人材で、このような人材に求められる能力や態度は、次の4つの力①「能動的学習能力」②「課題構想力」③「協働実践力」④「国際コミュニケーション力」であると考えています。

近い将来において、今の子どもたちの多くが現在は存在していない職業につく可能性が提唱されているなど、激動の時代を前にして、本学部で育成する「共創の専門性」＝「共創的課題解決力」を身に付けた人材は、多様な分野に活躍の場を見つけ、特にグローバル社会の課題の解決のために、実務、専門、研究の各領域において、必要な人材として成長していくことが期待されます。

共創学部では、「知識を問う入試から、能力を見極める入試への転換」を掲げ、知識・技能のみならず、思考力・判断力・表現力や主体性・多様性・協働性を持つ多様な学生を選抜するため、「一般入試」「推薦入試」「AO入試」「国際型入試」の4つのタイプの入試を実施します。

全ての入試で、入学後の学習構想を含む「志望理由書」を、AO入試と推薦入試では「活動歴報告書」の提出を求めます。

また、大学入試センター試験の「英語」については、英語能力試験の成績の提出を認め、提出された成績を一定の基準で換算し、大学入試センター試験「英語」の得点として利用する方式を導入します。

## 入学者選抜

### 共創的 課題解決力

#### ① 能動的学習能力

「何を学んだから何をする」という専門性を先行させるのではなく、「何をしたいから何を学ぶ」

#### ② 課題構想力

現実の問題に対応するため適切に課題を設定し、既存の学知を組み合わせて解決方策を探求する

#### ③ 協働実践力

構想した課題解決方策について他者と議論し、他者の意見や能力をも組み合わせる形で協働し実現可能な解決方策を創造する

#### ④ 国際 コミュニケーション力

解決策の実行のために多くの人にその内容を説明し理解と協力を得る

人材の創出

### グローバル社会に必要な人材

#### For Global Life

国際的・地球的課題に対する解決策をコーディネートして、世界に効果的に情報発信できる実務家

#### For Changing Society

国際社会の課題を解決するため、新しい社会の仕組みや価値の創出をデザインする専門家

#### For Future Science

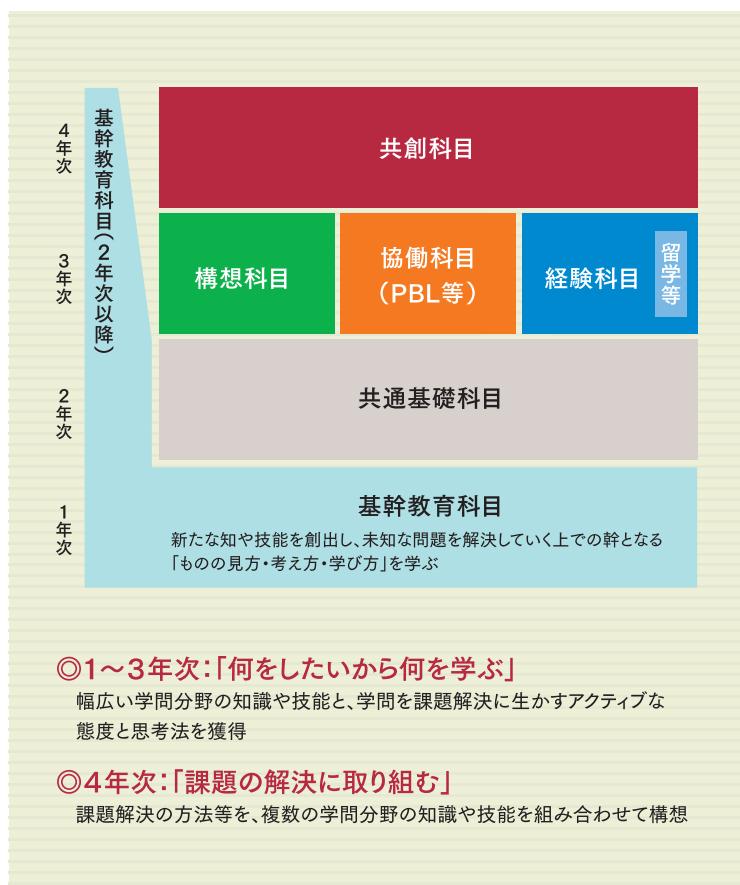
文理を超えた学際的の知見を修得し、国内外大学院に進学する、諸科学の境界・学際的領域の研究者

#### 推薦入試（特別入試）

九州大学の入試で現在実施されていない推薦入試を実施します。高等学校等の長が推薦できる人数は、1校につき1人とし、大学入試センター試験を課し、第1次選抜及び第2次選抜による選抜方法とします。

#### 一般入試（前期）

前期日程のみで実施します。大学入試センター試験と個別学力検査による選抜方法とし、個別学力検査においてはこれまで九州大学の前期日程では実施しない、小論文を実施します。



### ◎1~3年次:「何をしたいから何を学ぶ」

幅広い学問分野の知識や技能と、学問を課題解決に生かすアクティブな態度と思考法を獲得

### ◎4年次:「課題の解決に取り組む」

課題解決の方法等を、複数の学問分野の知識や技能を組み合わせて構想

共創学部の学生が最終的に学ぶ対象は、「地球的・人類的課題の解決方策」であるため、「人類が抱える諸課題の存在する領域」として区分した4つのエリア「人間・生命」「人と社会」「国家と地域」「地球・環境」に、人文科学、社会科学、自然科学の既存学問分野を横断・融合する内容のさまざまな授業を配置しています。学生は、自らの問題意識が存在するエリアの科目を履修することで、課題の解決に必要となる複数の専門分野の考え方や理論、学問としての射程を学んでいきます。

## 1 文理融合型のカリキュラム

## 2 協働学習

「構想」「協働」「経験」というプロセスを繰り返すという学びのサイクルを作るため、グループ討論により解決すべき課題を発見し、必要な知識や情報源を学習者が個々に収集・修得して共有し合うチーム基盤型学習法（Team-Based Learning, TBL）を取り入れた授業を設け、実際の課題解決に必要な手法や技法、自らの知識の生かし方、自らと他者の意識の組み合わせ方や結論を得る上で必要な合意形成等を学ぶとともに、そのため最も重要な度と志向性を涵養していきます。

## 3 徹底した語学教育

英語の運用能力のスキルアップに重点を置き、徹底した英語教育を行う「英語インテンシブコース」では、習熟レベル別のクラス編成を行い、集中的に英語を学ぶことで、国際社会で求められる英語の運用能力の土台を築きます。世界の時事問題や日本の時事問題などを取り上げ、現代の課題を認識し、常に最新の情報報をグローバルな視野で入手する姿勢を身に付けていきます。

## 4 海外大学等への留学

海外大学等への留学を義務付け、国内とは異なる状況の中で学び活動する経験を積み、異なる環境的・歴史的・文化的背景や価値観を認識し、国際的な理解や知識を拡大しながら、言語能力（語学力）とコミュニケーション力の向上を図ります。

学生個々のニーズに対応するため、海外大学との学生交流協定等の活用や、本学が実施する短期留学・研修プログラム、海外の教育機関等が実施する短期研修プログラムなど、多様な留学機会を用意する予定です。

## 5 留学生とのクラス・シェア

日本人学生と留学生が共に学ぶ環境（クラス・シェア）を構築し、学生と教職員がアクティブラーニングにより、相乗的・協働効果を生み出すグローバル・ハイキャンパスの形成を図ります。

## AO入試(特別入試)

21世紀プログラムのAO入試から講義などを一部見直して実施します。大学入試センター試験を免除し、第1次選抜及び第2次選抜による選抜方法とします。

帰国子女入試、私費外国人留学生入試（4月入学、10月入学）を実施します。大学入試センター試験を免除し、個別学力検査等による選抜方法とします。

### 国際型入試

| 入学定員 | 選抜方法             |            | センター試験の利用 | 選抜予定時期                  |
|------|------------------|------------|-----------|-------------------------|
| 105人 | 一般入試(前期) 65人     |            | ○         | 前期日程:2月下旬               |
|      | 特別入試(推薦) 10人     |            | ○         | 1次:12月上旬～中旬<br>2次:1月下旬  |
|      | 特別入試(AO) 20人     |            | -         | 1次:10月上旬～中旬<br>2次:11月上旬 |
|      | 国際型入試10人         | 一般入試(帰国子女) | 若干名       | 2月下旬                    |
|      | 特別入試(私費外国人4月入学)  | 若干名        | -         | 2月下旬                    |
|      | 特別入試(私費外国人10月入学) | 若干名        | -         | 1次:2月中旬<br>2次:3月上旬      |

新学部の設置については申請中であり、内容は今後変更する場合があります。

# 記者会見レポート



記者会見での集合写真(右端が杉本准教授)

授業にはない経験!

## 学生による学生のための ノート開発

芸術工学研究院

准教授 杉本 美貴 すぎもと よしたか

## プロジェクトメンバー

## ●教員

芸術工学研究院 准教授

曾我部 春香 そがべ はるか

## ●学生

統合新領域学府修士1年

中島 弥姫 なかしま みひ

芸術工学府修士1年

加峯 まりえ かぶ まりえ

芸術工学府修士1年

田中 理佐子 たなか りさこ

芸術工学部4年

石田 晓基 いしだ としき

芸術工学部4年

大久保 爽一郎 おおくぼ そういちろう

芸術工学部4年

森永 大地 もりなが だいち

このプロジェクトは、主に受注生産を行っている印刷会社の株式会社三光様が、本学の新事業として自社で製造・販売可能な学生用ノートの開発について技術相談され、インダストリアルデザイン(※)が専門の私にお話をいただいたことからスタートしました。そこで、自分たちが本当に欲しいノートをデザインしてもらうべく学生参加型の共同研究を企画し、約20人の学生と教員2人で取り組んできました。

私の役割は、デザインへの助言やアイデアの方向付けに加え、商品化に向けての権利化や量産のためのものづくりの指導、製品デザインに留まらず販路開拓やプロモーションに至るまでのプロジェクトマネジメントです。実践的なプロジェクトだったため、私も教員ではなく上司の感覚で学生に接することもあり、学生にとっては実社会でのデザイン開発に近い環境でプロジェクトを行ったことも貴重な経験になつたと思います。

そうして考案された多数の



株式会社三光の工場見学



株式会社三光との打ち合わせ

アイデアの中から、デザインの新規性やユーザー評価に加え、ものづくりやコスト面から4案が商品化されることとなりました。平成28年10月に開催された「第18回福岡デザインアワード」にも入賞することができます。まずは3種類の商品が東急ハンズ博多駅店で平成29年3月中旬から販売されています。

このプロジェクトを通じて、学生たちは大学での学びが実践でも活かされたことで学習への手応えを感じると共に、普段の授業では経験できない商品を作る難しさやプロのこだわりなど多くのことを学んでくれたと思います。私自身も、新規性やユーザー評価に加え、ものづくりやコスト面から4案が商品化されることとなりました。平成28年10月に開催された「第18回福岡デザインアワード」にも入賞することができます。まずは3種類の商品が東急ハンズ博多駅店で平成29年3月中旬から販売されています。

このプロジェクトを通じて、学生たちは大学での学びが実践でも活かされたことで学習への手応えを感じると共に、普段の授業では経験できない商品を作る難しさやプロのこだわりなど多くのことを学んでくれたと思います。私自身も、新規性やユーザー評価に加え、ものづくりやコスト面から4案が商品化されることとなりました。平成28年10月に開催された「第18回福岡デザインアワード」にも入賞することができます。まずは3種類の商品が東急ハンズ博多駅店で平成29年3月中旬から販売されています。

(※)インダストリアルデザイン：生活空間・機器・用具に係わる具体的なデザインおよびそれらを統合するシステムの企画・計画・設計。



## 商品化された学生ノート

現在、3つの商品を東急ハンズ博多駅店5Fで販売中！  
そのほかの販売店とも商談中で、他の作品も商品化に向け調整しています。



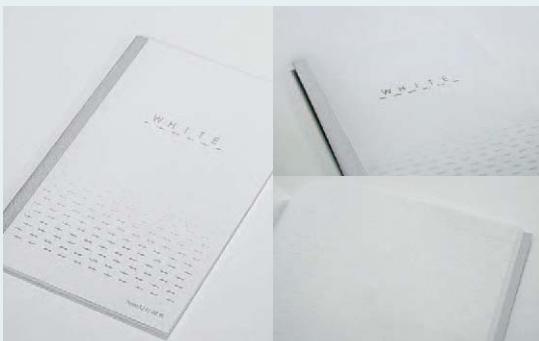
### ●3mmLEAF1/1

罫線が3ミリ幅のルーズリーフで、2行を使って書けば一般的な6ミリの罫線として使え、見出しへは3行、アルファベットの小文字は1行で書くなど、書きたい文字のサイズに応じて書き分けることができる。1ページあたりの罫線の本数が増えているが、罫線の色を薄くすることで目障りにならないように配慮している(販売中)。



### ●3mmLEAF1/4

3mmLEAF1/1の縦方向を4分の1にした横長形状のルーズリーフで、ページの要点をまとめたり、あと少し書き加えたい時に付け足せるなど、ユーザーのニーズに応じて色々な使い方ができる。また、横幅が3mmLEAF1/1より1センチ長くすることで、ルーズリーフと一緒に綴じるとインデックスとしても利用できる(販売中)。



### ●W\_H\_L\_T\_E

7ミリ幅の罫線が白い破線で印刷されているノートで、筆記時は罫線に沿って書くことができ、見返す時は書かれた内容のみがはっきりと見やすい。1行ごとに段違いになった破線に目印線を引くことで図形や表も書きやすい(販売中)。



### ●FLEXible note

大学生は1科目の授業回数が少なく通常のノートは使い切れないことから、ページ数の少ない薄いノートを作製。箱型パッケージはノートスタンドとして使用できる(発売日未定)。

## 杉本先生から一言

デザインとは単にオシャレなものやカッコいいものを作ることではなく、ユーザー・社会に役立つモノ・コト、新しい暮らしや世界を創造することです。そのために、芸術工学部・芸術工学府では企業や自治体などのご協力をいただきながら、多くの実践的な授業やプロジェクトを行っています。デザイナーは形や色を考える前に、何をデザインすべきか、どうやってデザインするかを考えることが非常に重要です。考えることが得意な九大生はデザイナーとしての資質は十分です。



TEL:092-553-4635(直通)  
E-mail:sugimoto@design.kyushu-u.ac.jp



制作した学生たち



クイーン戦本戦の鶴田さん(提供:全日本かるた協会)

日本一の栄光!

## 九大初! かるたクイーンが誕生

教育学部4年

鶴田 紗恵 つるた さえ



記者懇談会の様子

平成29年2月24日(金)、かるたクイーンとなつた教育学部4年の鶴田紗恵さんが、大学院人間環境学研究院の黒木俊秀教授と記者懇談会に出席し、クイーン位を獲得した後の日々のこと、学業と競技かるたとの両立について話しました。

「クイーンになつたことで、周りの方々からたくさん祝福して頂きました。いろんな方に支えてもらつてここまで来ることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。競技かるたをしている子どもたちも私を見つけると声をかけてくれて、『クイーンとして見られているんだ』と思うと、気が引き締まる思いです。ただ、競技かるたの世界では『防衛してからがクイーンだ』と言われます。1年後の大会でも、もう一度結果を出して、誰が見ても素晴らしい、真似したいと思われる『真のクイーン』になりたいと思っています」。

一緒に出席した黒木教授は、クイーン戦での鶴田さんについて、「研究室ではおだやかで落ち着いていて聰明なお嬢さんという印象ですが、リアルタイムでく

イーン戦をみて、その気迫や闘争心にとても驚きました」と話しました。

クイーン戦後には、卒業論文も無事提出し、鶴田さんは、これから大学院に進むことが決まりました。

「クイーンになつてすぐに卒業の方々からたくさん祝福して頂きました。いろんな方に支えてもらつてここまで来ることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。競技かるたをしている子どもたちも私を見つけると声をかけてくれて、『クイーンとして見られているんだ』と思うと、気が引き締まる思いです。ただ、競技かるたの世界では『防衛してからがクイーンだ』と言われます。1年後の大会でも、もう一度結果を出して、誰が見ても素晴らしい、真似したいと思われる『真のクイーン』になりたいと思っています」。

高みを目指していく、それも魅力のひとつだと思います。

私も、これから自分の夢に向かってしっかりと普段の生活や大学院のこと



左から山縣理事・久保総長・鶴田さん・黒木教授

伊藤戦をみて、その気迫や闘争心にとても驚きました」と話しました。

クイーン戦後には、卒業論文も無事提出し、鶴田さんは、これから大学院に進むことが決まりました。

「クイーンになつてすぐに卒業の方々からたくさん祝福して頂きました。いろんな方に支えてもらつてここまで来ることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。競技かるたをしている子どもたちも私を見つけると声をかけてくれて、『クイーンとして見られているんだ』と思うと、気が引き締まる思いです。ただ、競技かるたの世界では『防衛してからがクイーンだ』と言われます。1年後の大会でも、もう一度結果を出して、誰が見ても素晴らしい、真似したいと思われる『真のクイーン』になりたいと思っています」。

高みを目指していく、それも魅力のひとつだと思います。

私も、これから自分の夢に向かってしっかりと普段の生活や大学院のこと

それに對して久保総長は、「競技かるたは集中力や体力が必要な競技です。クイーン位獲得おめでとう。鶴田さんは、学業にも真摯に取り組まれており、何事に対しても、普段から努力されていてすばらしいと思います。これからも頑張ってください」とエールを送りました。

「競技かるたは集中力や体力が必要な競技です。クイーン位獲得おめでとう。鶴田さんは、学業にも真摯に取り組まれており、何事に対しても、普段から努力されていてすばらしいと思います。これからも頑張ってください」とエールを送りました。

## クイーン位に輝いた第63期名人位・第61期クイーン位決定戦!!

九州大学百人一首愛好会所属の鶴田紗恵さんが第61期クイーン位を獲得しました。

平成29年1月7日(土)、近江神宮(滋賀県大津市)で、競技かるたの日本一を決める「第63期名人位・第61期クイーン位決定戦」が開催され、九州大学百人一首愛好会の鶴田紗恵六段(教育学部4年)が坪田翼クイーン(東京東会)を2連勝で下し、クイーン位に輝きました。昨年(平成28年)11月に行われたクイーン戦への出場権をかけた挑戦者決定戦で、東日本代表の山下恵令六段(東京明静会)をストレートで下し、初のクイーン戦への出場権を得たものです。

鶴田さんは「来年は心技体会」をストレートで下し、初のクイーン戦への出場権を得たものです。

よつて6-1まで追い詰められましたが、怒涛の6連取で逆転、1枚差で勝利し、クイーン位獲得となりました。九州からは3人目で、本学からは初めてのクイーン位獲得者になります。



応援に駆け付けた当会員と関係者の方たち



表彰式の様子(提供:全日本かるた協会)

### 学生からひと言

クイーンには、競技かるたの広告塔の役割があると思っています。今、「ちはやふる」という漫画でかるたブームにもなっていることもあり、競技かるたを始める人が増えてきています。これからも、競技かるたを知らない人や、始めたばかりの子どもたちに、夢を持ってもらえるような存在でありたいです。また、かるたの楽しさ、魅力、素晴らしさを、かるたや自分の試合を通して伝えていけたらと思っています。



九州大学百人一首愛好会

E-mail:q\_karuta@yahoo.co.jp Webサイト:<http://karuta.iza-yoi.net/>

# スマートモビリティ推進コンソーシアム 自動運転バスの実証実験開始



伊都キャンパスを走る自動運転バス

## 自動運転バスの サービスインに向け

平成28年12月13日(火)、九州大学、株式会社NTTドコモ

モ、株式会社ディー・エヌ・エーおよび福岡市が会見し、4者が設立したスマートモビリティ推進コンソーシアムがめざす平成30年度下期における本学伊都キャンパス内自動運転バスのサービスインに向け、自動運転バスの実証実験を開始することを発表しました。

会見で久保総長は、多くの学生・教職員が活動する広大な伊都キャンパスでの実証実験は、平成30年度下期にはサービスインという目標を掲げていることや、人口減少・超高齢社会における移動手段の確保などの社会的課題の解決につながることへの期待を述べました。

また、約40名の学生・教職員が、伊都キャンパス内を走行する

モ、株式会社ディー・エヌ・エーおよび福岡市が会見し、4者が設立したスマートモビリティ推進コンソーシアムがめざす平成30年度下期における本学伊都キャンパス内自動運転バスのサービスインに向け、自動運転バスの実証実験を開始することを発表しました。

4者は、自動運転バスのサービスインに向けたロードマップとして、①安全性の向上、②利便性の向上、③社会受容性の向上といった課題について、伊都キャンパスの多様な交通環境の中で、段階的に実際の公道に近い環境に近づけながら自動走行実証を繰り返し行い、自動運転バスの社会受容性の向上と安全性の検証を行うことを発表しました。

また、交通サービスのさらなる安全性・利便性の向上に繋がる周辺技術として、実現をめざす三つの機能、「路車間協

調」、「音声エージェント」、「運行管制」のうち、まずは路車間協の説明を受け、自動運転バスに期待する声が上がりました。

4者は、自動運転バスのサービスインに向けたロードマップとして、①安全性の向上、②利便性の向上、③社会受容性の向上といった課題について、伊都キャンパスの多様な交通環境の中で、段階的に実際の公道に近い環境に近づけながら自動走行実証を繰り返し行い、自動運転バスの社会受容性の向上と安全性の検証を行うことを発表しました。

4者は、今後も協力しながら、伊都キャンパス内における自動運転バスのサービスインの実現をめざすとともに、人口減少・高齢化社会における転手不足や、地域による交通の供給不足等社会課題の解決に資する技術・ノウハウの確立に貢献していきます。



バスに試乗する学生の様子



囲み取材の様子

※交通事故をなくすには、自動車側対策だけでなく歩行者が携帯する安全装置が必要と考える概念。

# 学生歌「松原に」の作詞者と対談

「松原に」

秋山喜文 作詞

山田尚慶 作曲

唇も朽ちはてて  
矢の疾風 頬打つも  
防墨に 火は燃えて  
誇らかに 自由を守る  
黒き蛾は群れ舞うも  
梅におう学舎に  
翳なき知性を磨く  
日は高く松原に  
湧き上がる宴うた  
若者の瞳は澄みて  
譲るなき情熱を焚く

詩の意味を作者自らが  
ていねいに解説

入学時から「松原に」を歌つて  
いたという久保千春総長たつて  
の願いで、作詞者である秋山喜  
文さんとの対談が平成28年12  
月26日(月)に実現しました。  
秋山さんは高校生の頃に国

語の授業で島崎藤村の詩に触  
れたのをきっかけに、五七五で  
詩を作り始めたと言います。い  
までも創作を続け、60年になる  
そうです。

「松原に」の作詞をしたのは  
昭和30年。当時、校歌と寮歌が  
なかつたため、学生向けに詩の  
公募が発表されました。秋山さ  
んは2度応募し、入選。

「松原に」に合わせて曲を

つくったのは当時、工学部

3年の学生でした。

詩についてお尋ねする

と、第2節には頭の音に  
「く」を並べ、「アリタレー  
ション」というテンポを良  
くする技法を用いている

ことを話してくださりました。  
また、詩に込めた思  
いについてこのように語っ  
ています。



詩を統け、毎年雑誌を作っているという秋山さん



総長念願の対談が実現

秋山 喜文 あきやま よしふみ

昭和7年8月23日生  
昭和30年3月 九州大学経済学部卒業  
昭和30年4月 福岡銀行入行  
(研修課長、調査部長、理事調査室長等)  
平成 2年4月 福岡銀行退職  
平成 2年5月 長崎県立国際経済大学経済学部教授  
平成 7年3月 長崎県立大学・同大学院退職  
平成 7年4月 熊本県立大学総合管理学部教授  
平成15年3月 熊本県立大学退職



「校歌というのは自分を守れ、  
志を磨けという命令形なのが一  
般的ですが、私は『自分たちが守  
るんだ』『磨くんだ』という主体  
性のあるメッセージを込めたかつ  
たんです。1節の詩は防墨地帯  
だつた箱崎に嵐雲が立ち込み、  
風が頬を打つけれども誇らかに  
自由を守っている様子を。2節  
は太宰府を舞台に、当時、進駐  
軍を相手にしていた女性の方が  
いたり、代議士さんとか適当な  
発言をしていて世の中は乱れて  
いると言いたかった。それに惑わ  
されず、梅が香る学び舎で知性  
を磨くんだと強調しました。3  
節は松原に湧き上がる学生の  
宴や澄んだ瞳、若者の情熱を描  
いています」。

## Topics

### 01

### 九州大学エネルギーイーク2017を開催

2017年1月30日（月）から2月3日（金）の5日間にわたり、エネルギーに関する一大シンポジウム「九州大学エネルギーイーク2017」を開催しました。

初日は、久保総長による挨拶で開会し、オープニングセッションとして「エネルギーへの大学の貢献」をテーマに、国内外で活躍中の研究者による招待講演を行いました。続いて行われたパネルディスカッションでは、最先端のエネルギー研究について活発な議論を交わしました。

2日目は、若手研究者や学生によるポスターセッションが行われ、総長賞を工学研究院の小野利和助教、総合理工学府博士課程1年の藤崎貴也さん、工学府修士課程1年の二村聖太郎さんが受賞しました。事前に審査が行われた若手研究者・博士課程学生支援プログラムの表彰も同時に実行され、金賞を総合理工学府修士課程1年の奥村龍之介さんが受賞しました。表彰式の前には「エネルギー研究教育機構の各ユニット研究構想」をテーマとして、エネルギー研究教育機構の各ユニットの研究構想や活動が説明され、その後、若手研究者や海外から招聘した研究者による講演が行われました。

3日目には「エネルギー&次世代電力網における応用数学の挑戦」をテーマに、国内外トップレベルの研究者が一堂に会し、講演や研究発表をはじめパネルディスカッション、ポスターセッションなどで活発な議論や意見交換を行いました。

4日目は「エネルギーイノベーションを支える産学官連携」をテーマに3つの会場に場所を移し開催しました。筑紫キャンパスでは「エネルギー研究教育機構シンポジウム」、アクロス福岡では「九州水素・燃料電池フォーラム」と「水素先端世界フォーラム2017」、鳥栖のシンクロトロン光利用研究センターでは「シンクロトロン光シンポジウム」を開催し、海外の研究

者や産業界から講師を招き、それぞれ特色のあるイベントを行いました。

最終日には「エネルギーと産学官連携」をテーマとして産業界や文部科学省から講師を招き、講演や研究発表、パネルディスカッションを行いました。また、終日さまざまな研究分野のワークショップも催され、多くの研究者、学生などが来場し意見交換を行いました。

連日、国内外で活躍している研究者をはじめ、幅広くエネルギーの研究をしている研究者、学生、産業界、行政関係者など多くの方々が講演や研究発表を行い、5日間を通して約2,000人の参加者が来場し盛会の内に幕を閉じました。

来年も同時期に「九州大学エネルギーイーク2018」の開催を予定しています。



開会の挨拶をする久保千春総長



パネルディスカッションの様子



ポスターセッション、若手支援プログラム受賞者

## Topics 02

### トビタテ！留学JAPANで全国1位！合格者壮行会を開催

2017年3月9日（木）、平成29年度官民協働海外留学支援制度「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」における久保総長主催の第6期合格者壮行会と、「九大トビタテNetwork（QTN）」の第1回総会を伊都キャンパスで開催しました。

このプログラムは、文部科学省が民間企業（約200社）や大学と連携し平成26年度にスタートしたもので、産業界を中心には社会全体に貢献・還元する意欲と能力ある日本人学生の海外留学を促進しグローバル人材を育成するものです。

本学は、2017年2月に発表された第6期派遣留学生選考において、28名の合格者を輩出し、全国1位を誇りました。本学では、留学生センターとグローバル学生交流センターの教職員10人体制でトビタテ応募者の支援をしており、第1期から第6期の合格者は合計101人となりました。

今回が第1回目となる「九大トビタテNetwork（QTN）」は、累計合格者が100人を超えたことを機に創設されたもので、本学全てのトビタテ生を会員とし、トビタテ生同士のネットワーキングやエヴァンジェリスト活動、トビタテ支援企業との連携を目的としており、今後の活動に大きな期待が寄せられています。今後はトビタテ生同士の交流を促進するだけでなく、未来のトビタテ生を増やすために海外留学報告会など本学学生向けの各種イベントを開催する予定にしています。

このたび開催された壮行会では、久保総長からの「百聞は一見にしかず。柔らかい頭脳と感受性をもって留学中にさまざまな経験をし、将来の日本や世界を背負うグローバル人材になってほしい」との挨拶の後、第6期合格者全員が各自の決意表明を行いました。

また、合格者を代表して経済学部3年の橋本明佳さんが留学計画のプレゼンテーションを行い、「将来、アントレプレナーシップを持つ国際的な会計士になり、経済発展を通じた平和構築に貢献したい。そのため、この留学を通じて、世界で通用する会計や経済の専門知識、アントレプレナーシップそしてグローバルセンスを身につけたい」と留学に向けての決意を述べました。

続いて伊藤理事・副学長からは「留学中に世界中のさまざまな人々と友達になり、『友情』という一生の財産を築き上げてほしい」と激励の言葉が送られました。

今後はトビタテ応募者数を大幅に増やすことが大きな課題とされており、留学生センターとグローバル学生交流センター、そしてQTNが一丸となり「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」に挑戦する学生の支援に積極的に取り組んでいきます。



合格者による決意表明



留学計画プレゼンテーションをする経済学部3年の橋本明佳さん



集合写真

## Topics 03 デザイナー・水戸岡銳治氏の特別公開講演会を開催

2017年2月13日(月)、JR九州の車両をはじめとする各種公共交通デザインで知られるデザイナーの水戸岡銳治氏(株式会社ドーンデザイン研究所・代表取締役)を講師として迎え、特別公開講演会「デザインは公共のために」を開催しました。

水戸岡氏からは「デザイナーは社会の公僕であり、個人の想いや好みを超えて技術や素材の持つ素晴らしいことをデザインによって活かす、いわば代行業」「代行業のプロである以上、常識のレベルを常に人よりも高く持たなければならない」、「最高の常識を散りばめたデザインがオーナーを生む」といった話や、本物を求める大事さ、組織のトップの決断の大切さを、「ななつ星in 九州」や「九州新幹線つばめ」、「JRおおいたシティ」など、これまで水戸岡氏が手がけた数々の美しいデザイン作品のイラストや写真とともに語っていただきました。

会場の伊都キャンパス椎木講堂コンサートホールには、学生、教職員のほか市民の方々約450人が詰めかけ、水戸岡氏のものづくりやひとを育てるこころへの考え方方に深くうなずきつつ、時折ユーモアを交えて笑いを誘う水戸岡氏の語りに聴き入っていました。

会の最後には、講演会を企画した工学部を代表し、女子学生



自分がデザインした車両「885系かもめ」のスライドと水戸岡氏



講演する水戸岡 銳治氏

から感謝の意を込めてバレンタインデーにちなんだチョコレートが送られ、盛大な拍手のうちに幕を閉じました。

## Topics 04 本学に産業技術総合研究所との水素材料利用の研究連携サイトを設立

2017年1月11日(水)、本学と国立研究開発法人産業技術総合研究所(「産総研」)は、高信頼性・低コストを両立する水素用材料の開発を加速するための連携研究サイト「産総研・九大 水素材料強度ラボラトリ」(AIST-Kyushu University Hydrogen Materials Laboratory:Hydro Mate)を設立し、同日、開所式を開催しました。

これは2016年3月22日(火)に「まち・ひと・しごと創生本部」で決定した「政府関係機関移転基本方針」を踏まえて設立されたもので、本学と産総研との人的交流の促進などを通じた研究連携の強化のため、相互に強みのある分野を発展させるべく、国の最先端の水素材料強度研究に取り組む体制を強化するものです。

開所式では、産総研の中鉢良治理事長と、久保総長から、それぞれ今後の決意を込めた挨拶の後、末松広行経済産業省産業技術環境局長、小川洋福岡県知事、麻生泰一般社団法人九州経済連合会会長および高橋直人経済産業省九州経済産業局長より、期待と応援を含んだ祝辞がありました。

ラボラトリは伊都キャンパス内に設

立し、本学の杉村丈一水素材料先端科学研究センター長・工学研究院教授がラボ長を務めます。今後、本学の持つ世界トップレベルの高圧水素ガス中のマクロレベルの材料強度評価技術に基づく機械工学的な視点と、産総研の持つ水素環境中のナノレベルの材料組織評価技術に基づく材料工学的な視点を融合し、水素の安全で経済的な利用のため、水素用材料の脆化現象の解明とそれに基づく新規材料の開発を目指した基礎的研究を行います。さらに、産学官ネットワークを構築して、これら成果の民間企業への「橋渡し」を実現します。



協定書への調印式の後、握手を交わす  
中鉢産総研理事長と久保総長



ラボラトリの新しいロゴの前での記念撮影

## Topics

# 05

## 「第69回九大祭」「第13回芸工祭」を開催

2016年11月19日(土)と20日(日)、伊都キャンパスで第69回九大祭を開催しました。今年度は2万5,000人もの来場者があり、九大生のみならず来場者も楽しめる学園祭となり、大いに盛り上がりました。

今年の九大祭は「いとをつなぐ」のテーマどおり地元の祭りとのタイアップなどの企画を行ったことで、『いと』に関係する多くの方々を『つなぐ』イベントとなりました。

本学教員による特別講義、スタンプラリーやオリジナルグッズ販売、学生による教室企画など、多くの企画を行い、花火の打ち上げによる華やかなフィナーレを迎えることになりました。

また同日、大橋キャンパスで開催した第13回芸工祭では、芸術工学部の学生が、普段の授業や自主制作等で学んだことを活かして、企画から演出まですべてを手掛けて行いました。

衣装やステージ演出を学生が手掛けるファッションエンターテインメントショー、噴水にステージを設けて行われる演劇パフォーマンス、オブジェや装飾で空間全体を作品とするインスタレーションと呼ばれる体験型イベント、音楽・映像・照明・演出を駆使したダンスパーティーなど、芸工祭ならではのさまざまなエンターテインメントを提供しました。最後の夜には、芸工祭の伝統行事である「火祭」を行い、巨大な火櫓を囲み、学生や教員だけでなく一般の来場者の方々を巻き込んで盛大なフィナーレを迎えることができました。



来場者の様子(九大祭)



“ism”をテーマとしたファッションエンターテインメントショー(芸工祭)

## Topics

# 06

## ノーベル化学賞受賞者アーロン・チカノーバー博士による特別講演会を開催

2016年12月8日(木)、ノーベル化学賞受賞者(2004年)であるアーロン・チカノーバー(Aaron Ciechanover)博士を招き、「ユビキチンを介したタンパク質分解システム—ヒト病態の基礎研究から創薬開発研究へ」と題した特別講演会(主催:高等研究院)を医学部百年講堂(病院キャンパス)で開催しました。

チカノーバー博士は、会場いっぱいの聴衆者を前に自身の研究やその成果を踏まえた最先端の創薬について講演し、講演後も会場内の研究者や学生たちと活発な意見交換を行い、研究に対する心構えについても話されました。

翌日9日は、伊都キャンパス椎木講堂にて九州大学栄誉教授の称号授与式を行いました。これは、本学の教育研究活動の発展に多大の寄与および顕著な功績があった方に授与されるもので、バリー・シャープレス博士、ムハマド・ユヌス氏、ジャンマリー・レーン博士に続き、本学4人目となる九州大学栄誉教授の称号が授与されました。



特別講演を行うアーロン・チカノーバー博士

# 受賞のお知らせ

## 朝日賞

学術、芸術などの分野で傑出した業績をあげ、日本文化の発展、向上に多大の貢献をした個人または団体に贈られるものです。

### 森田 浩介

大学院理学研究院 教授

国立研究開発法人理化研究所

仁科加速器研究センター

超重元素研究グループ／ブレイクター

「113番元素ニホニウム(Nh)の発見と命名」

## ナイス・ステップな研究者

文部科学省科学技術・学術政策研究所が、科学技術の振興・普及において顕著な貢献をされた方々を「ナイス・ステップな研究者」として選定しているもので、2016年の研究者として、科学技術イノベーションの発展に顕著な貢献が評価されて選ばれたものです。

## 【奨励賞】

### 原田 有理子

歯学部6年

「線虫の行動特性を利用した、高精度で簡便ながんの早期発見手法の開発及びベンチャーカンパニーの設立による実用化の取組」

### 岩下 友美

大学院理学研究院 助教  
大学院システム情報科学研究院 客員准教授

「人影に着目した個人認証手法の提案と開発」

## 【特別賞】

### 金重 鶴美

文学部3年

「한일상호이해의 첫걸음  
（日韓相互理解の第一歩）  
－ある韓国人留学生との出会いを通して－」

【奨励賞】  
「我身边的国际交流」（私の身の回りの国際交流）  
独立行政法人日本学生支援機構に寄せられた寄附金を財源に、経済的理由により修学に困難がある優れた業績を挙げた学生および生徒を顕彰するもので、奨励・支援することにより、21世紀を担う前途有望な人材の育成に資することを目的としています。

【優秀賞】  
川平 敏文  
大学院人文科学研究院 准教授  
「徒然草の十七世紀—近世文芸思潮の形成—」  
(岩波書店2015年)

【特別賞】  
木村 淳美  
文学部2年  
「我身边的国际交流」（私の身の回りの国際交流）  
福岡市姉妹都市委員会主催、福岡市共催で開催しているもので、学生の中国語・韓国語能力を高め、表現能力を強めることにより、アジアの時代に国際舞台で活躍できる人材を養成することを目的としています。

【第1回韓国語弁論大会】  
鶴田 侑希  
法学部3年  
「交流从对话开始」（交流は対話から始まる）

【第1回韓国語弁論大会】  
間柄 拓也  
文学部2年  
「从古典中追寻“活着”的真谛」  
（中国古典から考える「生きる」とは何か）

【第1回韓国語弁論大会】  
金重 鶴美  
文学部3年  
「한일상호이해의 첫걸음  
（日韓相互理解の第一歩）  
－ある韓国人留学生との出会いを通して－」

## 第38回角川源義賞

角川源義賞は、角川書店の創立者で、古代中世文學の研究家でもあった角川源義の、日本文化振興への思念の一端を具現しようと、昭和54年に創設され、日本文学ならびに歴史の分野における卓越した研究成果を対象に顕彰するものです。

## 第1回中国語弁論大会

福岡市姉妹都市委員会主催、福岡市共催で開催しているもので、学生の中国語・韓国語能力を高め、表現能力を強めることにより、アジアの時代に国際舞台で活躍できる人材を養成することを目的としています。

## 第15回中国語弁論大会

「我身边的国际交流」（私の身の回りの国際交流）

木村 淳美  
文学部2年  
「我身边的国际交流」（私の身の回りの国際交流）

鶴田 侑希  
法学部3年  
「交流从对话开始」（交流は対話から始まる）

間柄 拓也  
文学部2年  
「从古典中追寻“活着”的真谛」  
（中国古典から考える「生きる」とは何か）

金重 鶴美  
文学部3年  
「한일상호이해의 첫걸음  
（日韓相互理解の第一歩）  
－ある韓国人留学生との出会いを通して－」



# MUSEUM REPORT vol.8 / 化石標本

九州大学総合研究博物館の収蔵資料

# 天覧化石と世界参照基準



(写真1) *Mantelliceras japonicum*のホロタイプ(約11cm)



故・松本達郎九州大学名誉教授



T. MATSUMOTO et al.: Selected Acanthoceratids

九州大学総合研究博物館には、本学名誉教授の故・松本達郎博士(1913～2009)が、昭和55(1980)年5月8日に昭和天皇へのご進講に用いた化石標本が保管されています。

生物学者として名高い昭和天皇へのご進講役に抜擢された松本博士は、研究に使った実物の標本(写真1)を天皇に直々にご覧に入れながら、古生物学の神髄を語るという前例のない方法を試みました。そして本学の長い研究史の中で収集された約8000点のアンモナイト化石のうち、特に重要な数点を厳選して皇后竹の間に持参し、ご進講に臨みました。この時使った標本のラベルには、松本博士の直筆で「天覧」の二文字が朱記されています(写真2)。実際に皇居に持ち

込まれてじかに天皇の手に触れた「天覧標本」は他大学に例がなく、昭和史を語る上で貴重な歴史的資料といえるでしょう。

一方、本学に所蔵されている化石標本の本来の役目は「世界参照基準」を務めることです。それは「国際動物命名規約」という国際ルールに定められていて、分類の根拠となる1個の標本（ホロタイプ）を指定することと併せ、研究機関には関連標本も含めて永久保管する義務が課せられています。これにより本学の研究論文を読んだ国内外の研究者は数十年前の論文であつても、誰でも自由にその証拠を検証することができます。実際、毎年大勢の学外研究者が標本閲覧のために博物館を訪れます。何しろ世界中のその道のプロの眼にじかに曝されるわけ

|   |  |
|---|--|
| <p>ですから、捏造などの不正は到底不可能です。</p> <p>そのため、世界トップ50に数えられる大学・大学博物館は、学術標本の保全とその活用を必ずミッションの中枢のひとつとして位置付けています。化石標本を預かる総合研究博物館は、まさに九州大学の「暖簾」を守っていると言えるでしょう。</p> | <p><b>Department of Geology, Kyushu University</b></p> <p>No. GK-H5428 (Holotype) 天竜<br/> <i>Name Mantelliceras japonicum</i> MATSUMOTO,<br/>     MURAMOTO &amp; TAKAHASHI<br/>     九本川泥岩带-17号井, 253, 鹿児島県, 25万年前(既.)</p> <p><b>Locality</b> 九本川泥岩带-17号井, 253, 鹿児島県, 25万年前(既.)</p> <p><b>Lower Cenomanian Coll.</b> 村本床堆</p> |
|---|--|

(写真2)写真1の標本のラベル「天覧」と「ホロタイプ」(世界参照基準)の「二刀流」

(九州大学総合研究博物館)  
教授

教授 前田 晴良(



# 九州大学基金

## —未来を切り拓くリーダーの育成—



椎木講堂

寄附者  
ご芳名

九州大学基金の趣旨にご賛同いただき、多大なご支援を賜り、誠にありがとうございます。本号では、平成28年11月1日から平成29年1月15日までに寄附申し込みいただいた皆様のご芳名(五十音順・敬称略)を掲載させていただきます。今後とも九州大学基金をよろしくお願い申し上げます。

|    |     |     |     |    |    |    |
|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 個人 | 有留  | 一木  | 一木  | 裕子 | 孝治 | 照周 |
| 伊藤 | 浦   | 占部  | 大里  | 誠  | 直哉 |    |
| 武洋 | 岡部  | 折目  | 金子  | 貴司 | 美子 |    |
| 康弘 | 岸村  | 金斑  | 成彦  | 綾乃 | 坂東 |    |
| 憲治 | 岸村  | 高祖  | 義弘  | 顯廣 | 喜代 |    |
|    | 楠本  | 黑谷  | 浩史  | 綾乃 | 喜代 |    |
|    | 工藤  | 児玉  | 聖一  | 成彦 | 喜代 |    |
|    | 佐藤  | 佐々木 | 正浩  | 裕子 | 喜代 |    |
|    | 柴田  | 佐藤  | 久次郎 | 坂東 | 喜代 |    |
|    | 白須  | 翔吾  |     |    |    |    |
|    | 庄山  | 紀雄  |     |    |    |    |
|    | 進藤  | 博之  |     |    |    |    |
| 杉  | 尚芳  | 宏   |     |    |    |    |
| 高尾 | 忠男  | 康久  |     |    |    |    |
| 田中 | あかね |     |     |    |    |    |

クレジット決済による継続的な支援者の皆様

|          |        |           |         |
|----------|--------|-----------|---------|
| 株式会社     | ギコウ    | 医歯薬出版株式会社 | ありあけ九大会 |
| 九州大学     | 帆友会    | 一般社団法人    | 企業・団体など |
| 株式会社     |        | 学士会       |         |
| 株式会社     | ジーンネット |           |         |
| ストローマン・  |        |           |         |
| ジャパン株式会社 |        |           |         |
| 正晃株式会社   |        |           |         |

丸山 水野 三好 山形 山本 口山 丸山  
 崇行 治伸 二竜 一夫 夫悦 志貴 和美  
 美ササガ

|            |      |
|------------|------|
| 株式会社       | 伊藤醫院 |
| 株式会社 東京歯材社 |      |
| 日本歯科薬品     |      |
| 株式会社 福岡学園  |      |
| 株式会社 ミドリ印刷 |      |
| ラーメンファミリー  |      |
| ワタキューセイモア  |      |
| 株式会社 九州支社  |      |
| 外 匿名希望1団体  |      |
| (計18企業等)   |      |

坂本 坂口 昭喜 好久 賢史  
酒井 井伯 幸治 雅典 輝  
境 佐伯 治信 雄和裕 雄  
酒齋 藤近藤 近藤 杰正一  
齋藤 近藤 是松 小松 小林  
近藤 小林 小林 小橋 伍藤  
是松 小松 小林 小鶴 小館  
小林 小林 小橋 五藤 児島  
小林 小林 古賀 古賀 古賀  
小橋 伍藤 古賀 古賀 古賀  
小鶴 小館 古賀 古賀 古賀  
小館 五藤 児島 古賀 古賀  
好士崎 神志那 沢和惠  
郡家 黒木川 黒岩  
小出 義孝  
河野 一夫  
好士崎 滋和惠  
神志那 德郎  
好士崎 賀代子  
好士崎 宰雄  
好士崎 武史

田中信輝 義博  
谷口英美  
谷口智之  
谷口宏初  
谷口真吉  
谷口和雄  
玉木勝正  
玉木和雄  
多和田真吉  
多和田利玉  
塚本木橋  
塚本木橋  
玉木利玉  
田原平田  
田原平田  
田原玉木  
田原玉木  
田原谷口  
田原谷口  
田中谷口  
田中谷口  
田中谷口  
田中谷口

新南里西田西侯充男有希子規明  
仁田原西村西村西田西侯充男有希子規明  
沼晋浩和一夫  
慎二寬治一夫  
良輔郁子一夫  
正紀公孝一夫  
良一知美一夫  
修一篤信一夫  
修一純夫一夫  
正紀公孝一夫  
正和弘一夫  
哲司篤信一夫  
信一純夫一夫  
眞彰朋美一夫  
修仁新二郎一夫  
輔之博美一夫  
輝彦朋美一夫  
房雄大輔一夫  
菜子正史一夫  
久良二郎一夫  
潤二郎一夫

堀堀堀堀堀堀細坊宝古吉吉古市船舟船船渕二藤藤藤藤不福福福福深深廣廣廣廣平平平平平木  
之内洋靖近恭曠  
堀堀堀堀堀堀細坊宝古吉吉古市船舟船船渕二藤藤藤藤不福福福福深深廣廣廣廣平平平平平木  
田野代田川川市越越岡神原本枝井二山本原田澤深田澤渡田瀬山松野田島  
洋二郎

※本年1月に発行させていただきました105号の寄附者ご芳名において誤りがございました。寄附者である島内様のお名前は、正しくは「島内雄治 様」です。以上のように訂正し、ここに謹んでお詫び申し上げます。

●お問い合わせ  
九州大学総務部同窓生・基金課

〒819-0395 福岡市西区元岡744  
TEL:092-802-2150  
E-mail:k-kikin@jimu.kyushu-u.ac.jp  
Webサイト:<http://kikin.kyushu-u.ac.jp/>

|                                   |      |
|-----------------------------------|------|
| 和田                                | 光史   |
| 和田                                | 修二   |
| 渡辺                                | 信一郎  |
| 和田                                | 仁三   |
| 渡辺                                | 信生   |
| 外                                 | 壽夫   |
| 匿名希望等98名                          |      |
| (計)                               | 731名 |
| 九大会員総数                            |      |
| 1万2千383名                          |      |
| 平成29年1月1日現在                       |      |
| (うちクレジット決済<br>による継続的な支援<br>者410名) |      |

九大会員の皆様へ ~新たな特典が加わりました~

九大会員の皆様には、学内・学外施設の利用、生涯メールアドレスサービスなどの特典をご用意しております。この度、新たに「株式会社 博多座」、「ファスティング旅館 若杉屋」が特典に加わりました。このほかにも多くの特典をご用意しております。詳細は九州大学基金Webサイトをご覧ください。

九州大学基金Webサイト:<http://kikin.kyushu-u.ac.jp/>



株式会社 博多座 (福岡市博多区下川端町)

Webサイト：<http://www.hakataza.co.jp/>

九大会員  
特典

- ・平成29年6月博多座大歌舞伎『中村橋之助改め 中村芝翫襲名披露』  
A席 通常18,000円(税込)  
→九大会員特別販売価格 10,000円(税込)  
※対象公演日 平成29年6月5日(月)～11日(日)土日は夜の部限定
  - ・特典のご利用にあたってはチケットぴあ九大会員専用チケット電話  
(092-708-9944)にてご予約ください。  
※平成29年4月9日(日)より予約受付開始。お電話の際に  
「博多座6月大歌舞伎の九大会員での予約」の旨をお伝えください。

ご注意  
事項

- ・博多座窓口およびインターネットでのご予約は承っておりません。
  - ・座席指定はできません、また、ご希望の日時の公演チケットが完売となっていることもございますのでご了承ください。
  - ・未就学児童のご入場はご遠慮ください。

【その他】6月博多座大歌舞伎のほか、8月公演ミュージカル「レ・ミゼラブル」についても九大会員特別販売価格でご覧いただけるよう準備中です。新規特典内容については決まり次第お知らせします。



# ファスティング旅館 若杉屋 (福岡県糟屋郡篠栗町)

TEL:092-410-8522 Webサイト:<http://wakasugiya.com/>

若杉屋ではファスティング・森林セラピー・お遍路メニュー・エクササイズを組み合わせ、「内臓・こころ・脳」のお手入れをするプログラムを提供します。

九大会員  
特典

- ・プログラムを通常料金より、**平日プラン30%割引、週末プラン20%割引**  
2泊3日 通常36,000円(税抜)→平日25,200円(税抜)(週末28,800円(税抜))  
3泊4日 通常48,000円(税抜)→平日33,600円(税抜)(週末38,400円(税抜))
  - ・ご予約はお電話又はWebサイトご予約フォームにて承っております。ご予約フォーム <http://wakasugiya.com/reserve/>
  - ・貸切、満室等によりご案内いたし兼ねる場合がございます。予めご了承ください。
  - ・一部、ご優待対象外のプランもございます。予めご了承ください。



\*各特典については、ご利用条件などをご確認の上ご利用ください。



## 筑後地区九大同窓会

平成28年11月12日(土)、ホテルニュープラザ久留米にて、平成28年度筑後地区九大同窓会を開催しました。出席者は会員50名、来賓として大学本部から荒殿理事・副学長、ありあけ九大会から福山満博様、山田元樹様にご出席をいたしました。

総会に先立ち、九州産業大学商学部の浅川哲郎教授(平成18年・経済学府博士課程卒)から「米国の大統領選挙と医療制度」と題して、米国の医療制度の現状と問題点、トランプ氏が大統領に当選したらどのような影響が生じるなど、実際に現地で調査された内容を、画像を使って分かりやすく報告していただき、大変参考になりました。

総会では、猪山渡会長(昭和59年・法学部卒)の挨拶、来賓ご挨拶、会計報告、公職者紹介等の後、出席最高齢の門松正雄さん(昭和23年・法文学部卒)の音頭で乾杯し懇親会に入りました。懇親会では初参加者の自己紹介や活発な交流が行われ、楽しいひと時を過ごしたのち、学生歌「松原に」を全員で大合唱して盛会のうちに終了しました。



出席者全員の集合写真

〈連絡先〉副会長 福田 洋一(昭和33年・経済学部卒)

TEL:0942-26-8353 E-mail:yfukuda@kurume.ktarn.or.jp

〈Webサイト〉<http://30.pro.tok2.com/~npokurumeyui/20130220Qdai/index02.html>



## 第5回熊本同窓会

熊本同窓会は、平成28年11月12日(土)に第5回となる総会を開催しました。

初めに、市民公開講座「震災を経て、熊本の復興をどのように進めていくか」と題して、熊本市長 大西一史様(平成26年・法学府博士後期課程単位取得退学)、医療法人川口会川口病院院長 川口英敏先生、九州大学工学研究院環境社会部門 島谷幸宏教授(昭和55年・工学研究科修了)、松田朋子様(平成21年・法学部卒)にご講演・シンポジウムをしていたきました。

その後、総会を開催し、事業報告、収支報告を行い、役員の選任を行いました。設立当初から会長を務めていただいた中川義朗様(昭和42年・法学研究科修士修了)から、吉田憲史様(昭和40年・医学部卒)にバトンが渡され、新たな副会長理事も選任されました。

続いて、懇親会に移り、各学部卒業、大学院修了者から総数160名で歓談致しました。これまで懇親会は、学部毎に席を割振っていたのですが、年代と学年で大合唱して盛会のうちに終了しました。そのため、乾杯後は、会員があちこちと動きながら交流を図っていました。



第5回総会新役員紹介

事務局長 宮田 房之(平成元年・法学部卒)

〈連絡先〉熊本中央区練兵町88番3 宮田総合法律事務所 E-mail:lawmytfs@orange.ocn.ne.jp



## ありあけ九大会 創立20周年記念総会



参加者全員での「松原に」の合唱風景

事前の周知、呼び掛けには、郷土を代表する日刊紙・有明新報に全面広告を出しました。当日は、九州大学の久保総長に「九州大学明日への挑戦」と題する講演を行っていただき、筑後地区九大同窓会からは、猪山渡会長、福田洋一副会長をお迎えし、祝辞を頂戴しました。

また、同窓会連合会で新たに設けられた「周年事業費助成事業」を活用して、会場横断幕を設置したことにより、格調高い会場設備を実現することができました。ありがとうございました。

総会後の懇親会では、毎年ご協力いただいている会員御令室お二人による、フルートとピアノの演奏を楽しみながら、親睦と交流を深めました。お開きは、全員で学生歌「松原に」を合唱して締めました。



## 九大関西同窓会新年賀詞交歓会

平成29年1月16日(月)

九大関西同窓会初の公開講演会を開催

第一部の講演会を今回から公開講演会として、市民の参加をいただきました。

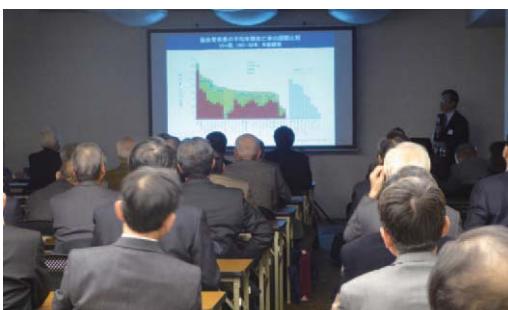
講演として、九大医学部が50年以上にわたりて研究を続けている「久山町研究」の代表である、清原裕名譽教授に講演をお願いしました。

この研究は世界的に有名で、この機会にぜひ関西の市民にも聞いていただき、九大のPRに貢献できるものと実施しました。講演会には、約50名の同窓生とほぼ同数の約50名の一般参加者計約100名の参加を得ました。終了後のアンケートでは「とても素晴らしい」という意見が多く寄せられ、同窓生の中からは「九大のPRのためにも、これからも続けてほしい」という意見が寄せられました。

第二部は北野嘉文氏(昭和57年・経済学部卒)の司会により、上野至大会長(昭和



清原先生の講演の様子



熱心に耳を傾ける参加者

42年・工学部卒)のご挨拶、九州大学から山縣理事のご挨拶のあと、松崎昭副会長(昭和41年・工学部卒)の乾杯のご発声で交歓会の幕を開けました。今回の参加者は80名。新入会員は平成28年度卒業生を含み15名で、「多くの先輩とじかにお話ができるこんな機会は心強いです」と感想を述べました。

初参加者の紹介では、大阪高裁の井上弘通長官(昭和50年・法学部卒)をはじめとする法曹界の同窓生が、法廷を彷彿とさせるやり取りなど多彩なスピーチで会場を盛り上げました。最後はコールアカデミーOBの合唱のあと、応援団OBのリードで全員で学生歌「松原に」を歌つて終了しました。

関西同窓会幹事長 岡政徳(昭和44年・法学部卒)  
 <連絡先>E-mail: doso-kansai@jimu.kyushu-u.ac.jp



## 沖縄県九州大学同窓会総会・懇親会

平成28年11月12日(土)、那覇市内のホテルにて、沖縄県九州大学同窓会の総会・懇親会を開催しました。全学部の同窓生を対象として、4年に一度、オリンピックの年に開催しており、今回は設立から9回目の総会となります。名簿登録約360名、総会出席者40名の会となりました。恒例の学生歌「松原に」を全員で歌い、賑やかに会を始めました。

総会では、真栄城優夫会長(昭和31年・医学部卒)が顧問となり、喜久村徳清新会長(昭和44年・医学部卒・医学博士)のもとに、副会長3人および幹事長の新役員が承認されました。



大学旗を背景に第9回沖縄県九州大学同窓会集合写真

沖縄県九州大学同窓会幹事長 長嶺 和弘

〈連絡先〉E-mail:info-oki@oki-kyushu-u.net 事務局長 安座間 猛(平成8年・工学部卒)

〈Webサイト〉<http://koyukai.kyushu-u.ac.jp/alumni/216>

副会長・安藤安則(昭和62年・工学博士)、高良鉄美(昭和58年・法学研究科博士課程単位取得満期退学)、久田友治(昭和53年・医学部卒)、幹事長・長嶺和弘(昭和58年・歯学部卒)

また、九州大学からは、山縣理事のご出席をいただき、九州大学の今と今後の取組について、ビデオを用いてのご説明があり、総会を盛り上げていただきました。

平成28年11月12日(土)、那覇市内のホテルにて、沖縄県九州大学同窓会の総会・懇親会を開催しました。全学部の同窓生を対象として、4年に一度、オリンピックの年に開催しており、今回は設立から9回目の総会となります。名簿登録約360名、総会出席者40名の会となりました。恒例の学生歌「松原に」を全員で歌い、賑やかに会を始めました。

総会では、真栄城優夫会長(昭和31年・医学部卒)が顧問となり、喜久村徳清新会長(昭和44年・医学部卒・医学博士)のもとに、副会長3人および幹事長の新役員が承認されました。

総会では、真栄城優夫会長(昭和31年・医学部卒)が顧問となり、喜久村徳清新会長(昭和44年・医学部卒・医学博士)のもとに、副会長3人および幹事長の新役員が承認されました。

総会は、4年に一度の開催となっていますが、毎月第3土曜日に「ギューギュー」という会を開催しております。全学部の有志が、業界も様々に、勉強会を行なながら、懇親を深めております。転勤等で沖縄へ移住された方々も参加しています。ただいま、事務局までお問い合わせください。

今後も同窓の皆さまが、ネットワークを広げられるよう取り組んで参りますので、何卒宜しくお願いいたします。

今後も同窓の皆さまが、ネットワークを広げられるよう取り組んで参りますので、何卒宜しくお願いいたします。



## 第15回唐津地区同窓会

平成29年1月21日(土)、唐津シーサイドホテルで第15回唐津地区同窓会を開催しました。昨年9月に任期途中でご逝去された隅田誠男前会長による昨年来のご尽力が実り、九州大学の久保総長を講演の講師および懇親会にお迎えすることができました。

これを機会に、地元の県立、私立の中高一貫校の生徒さんにもご案内し、同窓会総会の前に唐津地区同窓会講演会を開催しました。

講演会では20名を超える地元の中学生、高校生と約40名の同窓生の皆様にお越しいただき、「九州大学明日への挑戦」のテーマのもと、一同、久保総長のご講話に熱心に耳を傾けました。

講演会の後は、総会を開催し、新会長として深川ひろみ副会长(昭和45年・薬学部卒)が選任されました。懇親会では、久保総長をご来賓にお迎えし、当同窓会会員一同、楽しいひと時を過ごしました。懇親会の最後は、新たに選任された諸泉嘉治朗副会长(昭和52年・法学部卒)の音頭のもと毎年恒例の学生歌「松原に」、「春の讃

幕を閉じました。



久保総長(中央)を囲んで記念写真

唐津地区同窓会事務局 幸島 英伸(平成8年・工学部卒)

〈連絡先〉E-mail:hideno\_k@kyudai.jp

# 広報室学生スタッフの お仕事

## 広報室学生スタッフに インタビュー――



### 広報室学生スタッフメンバー



広聴班リーダー  
韓淑泰  
(地球社会統合科学府 博士課程)



広報班リーダー  
下山 ちひろ  
(理学府 修士2年)



笠原妃奈  
(理学部 4年)



王琪  
(地球社会統合科学府 博士課程)

郝曉陽(地球社会統合科学府 博士課程)

廣野晃一(理学府2年)

原偉平(工学部4年)

孟含晴(工学部3年)

李泰衍(工学部2年)

内村優太(工学部3年)

### 卒業メンバー

和田健太郎(工学府)

三根貴大(工学府)

鍋倉航平(工学府)

禹喜栄(工学府)

広報室学生スタッフは随時募集中です。  
興味のある方は是非Facebookページを  
チェックしてください!

Facebookページ

<https://www.facebook.com/KyushuUniv.Student>

部活動・サークルでいきいきと活動している九大生を紹介する「躍動」。

私たちも、本紙で掲載している「躍動」を制作したり、

制作しているのは私達広報室学生スタッフです。

今回は、広報室学生スタッフの活動内容を紹介します。

学生スタッフとは?  
――

韓 広報室の仕事をお手伝いする学生アルバイトのことです。様々な学部・学科の現役九

大生が活動しています。

どんな活動をしていますか?  
――

韓 毎朝、大学に関連する新聞記事を切り抜く広聴班と、

学内の様子を発信する広報班に分かれて活動しています。

下山 広報班はさらに躍動チームとFacebookチームに分かれ、それぞれ「九大広報」に掲載される「躍動」の制作と、Facebookページの運営を行っています。

### 「躍動」について教えてください

笠原 「躍動」では、部活動や

サークル活動の様子を紹介しています。文化系・体育会系を問わず、年間2~3の団体を取り材

――

郝 短時間でたくさんの新聞を正確に読まなければならぬことです。そのため、毎朝見落としがないように集中して作業しています。

下山 紙媒体の「躍動」は掲載できる文字数や写真の数が限られています。そのような制約の中でも、どのような文章を書けばより読者に伝わりやすくな

――

下山 広報室学生スタッフの仕事は、やりがいがあり、大変勉強になります。

韓 興味を持った方は、是非私たちと一緒に活動しましょ

う!!

し、インタビュー形式で記事にします。

始めたきっかけは?  
――

下山 広報室の仕事って普段の学生生活から程遠いと思つていたんですね。そんな広報室でアルバイトができることを知り、九大の広報に貢献したいと

いう思いから学生スタッフを始めました。

笠原 私は部活動と両立できるということで、新聞の切り抜きのアルバイトを始めました。

下山 いろんな九大生と知り合えることです。取材に行く部活動・サークルには本当に色々な方がいらっしゃるんですよ。そうした方々からインタビューを通してたくさんの方の話をするのは楽しいですね。

――

郝 短時間でたくさんの新聞を正確に読まなければならぬことです。そのため、毎朝見落としがないように集中して作業しています。

下山 紙媒体の「躍動」は掲載できる文字数や写真の数が限られています。そのような制約の中でも、どのような文章を書けばより読者に伝わりやすくな

――

下山 広報室学生スタッフの仕事は、やりがいがあり、大変勉強になります。

韓 興味を持った方は、是非私たちと一緒に活動しましょ

う!!

るのかということに、日々頭を悩ませています。

魅力は?  
――

王 九大の教職員や学生の活動を新聞を通していち早く知れることです。九大の躍動を新聞記事で見つけたときには嬉しくなります。

下山 いろいろな九大生と知り合えることです。取材に行く部活動・サークルには本当に色々な方がいらっしゃるんですよ。そうした方々からインタビューをしてたくさんの方の話を聞けるのは楽しいですね。

――

郝 短時間でたくさんの新聞を正確に読まなければならぬことです。そのため、毎朝見落としがないように集中して作業しています。

下山 紙媒体の「躍動」は掲載できる文字数や写真の数が限られています。そのような制約の中でも、どのような文章を書けばより読者に伝わりやすくな

――

下山 広報室学生スタッフの仕事は、やりがいがあり、大変勉強になります。

韓 興味を持った方は、是非私たちと一緒に活動しましょ

う!!

## 開学記念行事を開催

九州大学は5月11日を「本学記念日」とし、例年、開学記念行事を開催しています。今年も以下のとおり、開学記念式典および学内施設公開を予定しています。

### 開学記念式典、講演会

(関係者のみ)

- 日時:2017年5月11日(木)10:00~12:00
- 会場:伊都キャンパス 椎木講堂コンサートホール
- 次第:総長挨拶、感謝状贈呈式、講演会 など
- 講演者:林 克彦 大学院医学研究院 教授



参加者と共に散策(福岡演習林)



昨年のイベントの様子(大橋)



総合研究博物館(箱崎)

### 学内施設公開

一般の方や中・高校生に、九州大学の最先端の教育研究内容を知っていただくため、研究施設等を公開します。公開内容、日程等の詳細は、本学Webサイトなどにてお知らせします。

- 日時:2017年5月11日(木)を中心に行催
- 会場:各キャンパス(伊都、箱崎、病院、筑紫、大橋、演習林)

#### ■お問い合わせ

九州大学総務部総務課総務第一係 〒819-0395 福岡市西区元岡744  
TEL: 092-802-2124 E-mail: syssomu1@jimu.kyushu-u.ac.jp  
Webサイト: <http://www.kyushu-u.ac.jp/>

## 「先生の森」に新たな先生が続々登場!

九州大学Webサイトにある特設サイト「先生の森」に新たな先生が仲間入りしました!魅力あふれる5名の先生が追加され、なかなか知ることができない先生の一日や研究への思いなどを紹介しています。また、「森の映画館」という動画サイトもオープンします充実した「先生の森」をぜひご覧ください。

Webサイト:<http://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/professor/>



安達先生



赤司先生



都甲先生



白根先生



森田先生



イメージ図

## 大学紹介ムービー「世界に響け 九大交響曲」を公開中!

若者が夢持てる大学、温かいハーモニーを大切に、世界の課題に挑戦する大学を九州大学は目指しています。ムービーでは最先端の研究の数々や、特色ある教育、学生生活、地域貢献、国際交流の取組や魅力を紹介しています。また、久保千春総長や卒業生からのメッセージも収録していますので、ぜひご覧ください。英語版「Kyushu University 2017-Culture and Campus life video」も公開しています。

Webサイト:<http://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/publicity/movie/>





住所変更ほか、発送についてのお問い合わせは、封筒記載の連絡先へお願いします。

九州大学広報室 TEL:092-802-2130 E-mail:koho@jimu.kyushu-u.ac.jp

九州大学学生後援会 TEL:092-802-5968 E-mail:gaggkouenkai@jimu.kyushu-u.ac.jp

九州大学同窓会連合会 TEL:092-802-2158 E-mail:sycdo-rengo@jimu.kyushu-u.ac.jp



九州大学  
KYUSHU UNIVERSITY